

## 競技要項 第4項の詳解

春季大会 競技要項第4項については、下表のとおり行う。

	試合成立	正式試合	時間制	コールド	延長戦	タイブレイク	抽選決着
決勝戦まで (三位決定戦)	5回	7回	あり (2時間)	あり 4回 10点差 5回 7点差	なし	あり (最大3回)	あり (タイブレイク戦後)
決勝戦			なし	なし	あり (9回裏まで)	あり (完全決着)	なし

上表の詳解については下記のとおり。

### 【決勝戦までの適用について】※三位決定戦も含む

#### (試合成立ならびに正式試合)

試合は7回まで試合を行い、時間制を採用する。試合開始から2時間を超えて新しいイニングには入らない。

※ 但し、以下の場合は例外とする。

- 1 試合成立は5回までとし、5回までは2時間を超えてても試合を行います。
- 2 後攻チームが攻撃中、後攻チームがリードしている際に2時間が経過した場合は、その時点で試合を打ち切ります。

#### (コールドゲーム)

4回 10点差 または 5回 7点差。

#### (タイブレイク)

試合開始から2時間または7回を終了し、同点の場合は次の回から最大3回のタイブレイク戦に入ります。

#### ！重要！タイブレイク戦に入った時点でタイムカウントは止まります（時間制の適用外）

- ・ タイブレイク戦は正式試合が成立後、同点の場合は必ず適用します。(2時間超えていても必ず実施)
  - 例：5回終了後、2時間を経過し同点の場合は、6回から最大3回タイブレイク戦を行う。
  - 6回終了後、2時間を経過し同点の場合は、7回から最大3回タイブレイク戦を行う。
  - 7回終了後、同点の場合は、残り時間に関係なく、8回から最大3回タイブレイク戦を行う。
- ・ タイブレイク戦を行っている途中に2時間を経過しても、途中で打ち切りません。
- ・ 最大3イニングのタイブレイク戦を戦い、それでも同点の場合のみ、両チームの最終メンバー9名ずつにて抽選決着を行います。

## 【決勝戦の適用について】

### (試合成立ならびに正式試合)

試合は7イニングまで行い、**時間制を採用しません。**（7回までは時間無制限）

※但し、**試合の成立は5回**となります。（野球規則：競技に関する連盟特別規則（少年部・学童部） p022 の1による）

### (コールドゲーム)

コールドゲームは**採用しません。**

### (延長戦)

7回終了し、同点の場合は**最大9回裏まで延長戦を行います。**

### (タイブレイク)

9回裏までの延長戦を行い、同点の場合は10回表より、**勝敗の決着がつくまでタイブレイク戦を行います。**

## 【サスペンデットゲーム（特別継続試合）について】

降雨などにより、試合の途中で中止された場合、特別継続試合を適用します。

### (適用するケース)

- ・ 正式試合（5回完了）になる前に中止になった場合。但し、**決勝戦においては再試合**となります。
- ・ 試合成立後、7回を完了するまでに、残り時間がある場合。（決勝戦は残り時間は適用外）

### (特別継続試合のルール)

- ① 中止となった元の状態から継続するため、**元の試合で交代した選手は出場できない。**
- ② 監督・コーチの交代は認めるが、試合前に大会本部へ変更メンバー表を提出すること。
- ③ **投手の投球回数制限はそのまま生きる（リセットされない）**
- ④ 残り時間は元の試合の経過時間から引き継ぎ、合算で2時間とする。（決勝戦を除く）
- ⑤ 特別継続試合の日時、球場、審判員は大会本部にて決定する。

注1) 特別継続試合は、原則として、**翌日の第一試合**に割り当てられます。

注2) **試合成立後（5回終了後）に中止となった場合は、リードしているチームが勝利**となり、特別継続試合は適用されません。（決勝戦も含む）

注3) 試合成立後（5回終了後）同点で試合が中止の場合は特別継続試合を適用します。

※但し、決勝戦においては、7回終了後、**延長戦またはタイブレイク中に、中止となった場合は、特別継続試合は適用されません。**

注4) 試合中止の判断は、審判員、大会役員、球場責任者の協議判断によるものであり、当該チームが意見を申し出ることはできない。（日没の場合も含む）